

目視観測終了でなくなる主な項目

天気	快晴、薄曇		
大気現象	雪あられ、氷あられ、 ひょう、虹、竜巻、 黄砂、電光、雷鳴		
雲	量や種類		



Pick UP 気象台の観測「目視」が終了

衛星など技術が進歩

「晴」か「快晴」か、「曇」か「薄曇」か。東京と大阪を除く気象台で、職員が空を見て天気を調べ、細かく記録する「目視観測」が3月26日に終わりました。これからは、専用の機器を使って自動で行います。自動ならではの良い点もありますが、「快晴」や「薄曇」などの項目がなくなってしまうそうです。

目で何を見る？

毎日決まった時間と場所で、天気や大気現象を人の目で見えて調べることを「目視観測」といいます。気象台の職員が交代で行い、屋上などで午前3時〜午後9時、3時間ごとに1日7回



屋上で目視観測する職員＝愛知県の名古屋地方気象台で

なぜ自動化？

地上から雨や雪を観測する気象レーダーや気象衛星など、大気の状態を調べる技術が発展。目で見なくても、雨の強さなど必要な情報を得られるようになったからです。

気象庁は2019年から、全国の地方気象台や測候所に観測機器を取り入

れ、自動化を進めてきました。今回、名古屋地方気象台(愛知県)を含む9カ所が自動化し、残りは東京と大阪の管区気象台だけになりました。

自動観測でも、気象台の機器と気象レーダーなどを組み合わせれば、「晴」や「曇」「雪」などは観測できます。ただ、目で見ないとわからない雲の量や種類を踏まえて決める「快晴」と「薄曇」は判別できません。ひよくに竜巻、黄砂も項目からなくなりました。

自動化はどう思う？

目視観測の経験がある名古屋地方気象台の常盤実さん(63)は、「そこまで細かく観測する時代ではなくなってきたのかな」と受け止めていきます。一方、自動的な24時間切れ目なく広い範囲を調べられ、均質なデータが得られます。職員の負担も少し減ります。

明治時代から続いてきた観測記録の一部は途絶えませんが、天気予報や防災への影響はないそう。名古屋地方気象台では、記録は残さないものの、今後も大気の状態を把握するための観測を続け、技術を次の世代に伝えていきます。

インタビュー 押さえておきたい!

B5切り取りとB5判ノットにぴったり!

2024年4月6日 NEWS OSAETOKO!

1 静岡県知事が辞職表明

静岡県の川勝平太知事は2日、「6月に辞職する」と表明しました＝写真。県の新規採用職員へのあいさつで1日に「県庁はシンクタンク。野菜を売るのは違う」などと発言し、職業差別と批判されました。環境への影響を心配して認めてこなかったリニア中央新幹線の県内工事にも影響する可能性があります。

リニアを巡っては、静岡県で工事開始のめどが立たないとして、JR東海が3月29日、2027年の開業は「実現できない」と表明。工事には10年かかるため、すぐ工事を始めても開業は34年以降になりそうです。

2024年4月6日 NEWS OSAETOKO!

2 宮内庁がインスタ開設

皇室に関わる事務などを担う宮内庁が1日、Instagramの公式アカウント＝写真＝を公開しました。3日までに、天皇、皇后両陛下が能登半島地震の被災地を視察された写真や、今年1～3月に行われた行事の写真など、20件余りが投稿されました。公開後、アカウントのフォロワーは急激に増え、3日時点で60万人を超えています。

Instagramを使う機会が多い若者に、皇室への理解を深めてもらうのが狙いです。写っているのは主に両陛下と愛子さま。他の皇族も掲載するかどうかは今後考えます。

2024年4月6日 ひもとき時事ワード

ナノプラスチック

プラスチックごみ＝写真＝などが壊れてできる小さな粒子「マイクロプラスチック」のうち、特に小さい粒子のこと。一般的に、直径が1マイクロメートル(千分の1mm)以下のものを指し、小さいので体に取り込まれやすいと考えられています。

東京農工大の教授らが国内の人の血液を調べたところ、この粒子とともに、プラスチックを作る時に混ぜる紫外線吸収剤などの有害な物質が見つかりました。ごくわずかな量でしたが、体に入る量が増え、期間が長くなると、健康に悪い影響が出るかもしれないと心配されています。